

知的創造・経営研究所

所長 棚橋 祐治

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/wwwr/lab/licm/>

「知的財産」と「経営」の学際領域に関する研究

近年、世界経済を取り巻く環境は、数多くのイノベーションの実現により急激に変化しています。一方で、企業活動における無形資産、中でも知的創造活動の成果としての知的財産は以前にも増して重要となっています。我が国では、このような環境変化に的確に対応し、知的財産を重視して、国際競争力を強化していかなければならない時代が到来しています。すなわち、イノベーションを、強固かつ持続可能なものとして実現するために、企業活動においてイノベーションを適切にマネジメントするとともに、企業経営やビジネスモデルにおいて知的財産を有効に活用することが求められています。当研究所は、このようなイノベーションの実現に寄与するために、知的財産とそれを活用した経営について、総合的・学際的・科学的に研究する拠点として活動するとともに、産学連携や産官学連携に寄与していきます。



RESEARCH THEME : 研究テーマ

知的財産科学研究センター

2002年の総合科学技術会議が、「ライフサイエンスやIT等先端技術と知的財産の関係、マクロ経済と知的財産政策の関係等、新時代にふさわしい知的財産のあり方について研究を深めるために、法学の一分野としての知的財産法から、法学・経済学・経営学・理学・工学・医学等に関わる融合科学としての「知的財産学」の発展を目指す」必要がある、と指摘したことを受け、その分野の研究を進めております。

具体的には、従来からの法学的アプローチに加え、「知的財産」を融合科学という学際的な視点で捉える「知的財産学」の研究を進めて日本政府が推進する「知的財産立国」の実現に向けて貢献することを目的としています。

【主な研究テーマ】

- ・ 知的財産人材の研究
- ・ 知的財産戦略マネジメント工学研究
- ・ IOTがもたらす知的財産戦略への影響についての研究

先端経営研究センター

少子高齢化による社会構造の変化、資本市場の質的な変化、グローバル化の進展、環境問題など、企業を取り巻く経営環境は益々複雑化しています。一方、わが国では大学の研究機関が企業経営を直接的に支援したり、グローバルビジネスに通用する競争力あるプロフェッショナル人材を育成したりする仕組みが極めて脆弱でした。本研究センターでは、先端経営研究、プロフェッショナル人材育成、企業変革の実践という3つのテーマに実践的に取り組むことを目的としています。

【主な研究テーマ】

- ・ プロフェッショナル人材育成(人づくりを実現する経営フレームワーク)
- ・ 企業変革の実践(経営イノベーション。高業績文化を通じた独自性、競争優位、顧客価値の創造と推進)
- ・ 先端経営研究(企業モデリングと経営シミュレーション。企業プロセスモデリングとビジネスインテリジェンスの融合)
- ・ ポートフォリオインテリジェンス(学習の効果的PDCAの実現と認知モデリング)